

「みんなの願い」 「みんなが安心できる」 「みんなですりたいたい」

平和・くらし・環境



日本共産党は全力で!

ロシアのウクライナ侵略 絶対に許せません。

病院や駅など無差別に攻撃し、多くの子どもたち、市民を死傷させているロシアの蛮行を断じて許すことはできません。

日本共産党市議団は代表質問の冒頭で、いち早く抗議の態度表明をしました。

3月定例議会の市議会決議にも賛成し、全世界の人々とともにロシアの侵略行為を世論で包囲するため尽力します。

同時にこの機に乗じて「核共有」「敵基地攻撃」「改憲」等、危険な動きが出てきています。軍事同盟の強化、武器による威しや攻撃でものごとは解決しません。あらゆる外交努力を尽くすよう訴えます。



一方で横須賀にも物騒なものが… 日米軍事同盟の実態がこれだ!

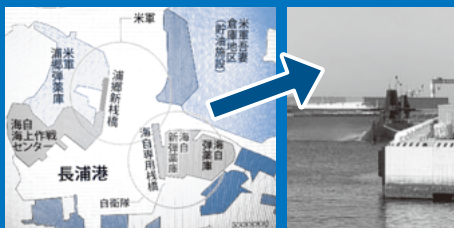
長浦港が変貌 大型ミサイル弾薬も



海上自衛隊の新弾薬庫（比与宇）が完成し、今度は弾薬の搬出入のためと思われる棧橋が建設中で、もう潜水艦が接岸しています。（下の写真）

湾の向こう側には米軍の弾薬庫（浦郷）があり、こちらにも米軍の棧橋ができれば、双方の武器を運用できる日米一体化の軍事態勢が強化され、いっそう危険なまちに。

市民の目が届かない防衛施設の中で進められていることだけに、**ねぎしかず**議員は、横須賀市が、市民の安全を守る立場で国に情報開示するよう求めました。



市民の安全を守る立場で国に情報開示するよう求めました。

ご迷惑をおかけします
新しい岸壁・護岸・付帯施設
をつくっています
令和5年3月31日まで
時間帯 7:00～7:00
長浦(2)岸壁整備等追加工事
発注者 防衛省 南関東防衛局 総務課 土木課
電話 045-211-7118
施工者 東洋建設工業・北石中建設 建設共同企業体
電話 046-887-0061
作業所長 長谷川 誠



ねぎしかず議員



気候危機打開!

私たちは原発や化石燃料に頼らず、再エネ、省エネを強力に推し進めるために行動していきます。社会を根底から変える「パラダイムシフト」をみなさんとともに拓いていきます。

耕作放棄地を農業SDGsとソーラーシェアリングでまちづくりを進める「小田原かなごてファーム」を視察する日本共産党市議団。

自然エネでゼロカーボンシティ実現へ

市長は代表質問において国、県、米軍施設は市の実行計画の「事業者」には含まないと答弁。また、これらに加えエネルギー転換部門であるJERAの石炭火力発電所が稼働した際には排出されるCO₂を横須賀市として算入しないと答弁しました。

しかし、当たりまえですが、市域の大気はつながっています。市として責務を掲げCO₂削減に取り組むと言っても石炭火力発電所が稼働すれば、市民の努力が踏みにじられるほどの排出量が出されます。これでは道理が立ちません。



あつぎ市民発電所を視察 (ソーラーシェアリング)



「3.25 グローバル気候アクション」に参加

漁師を生業としてきた 市民が裁判で証言



大村洋子議員は久里浜の石炭火力発電所建設に関する裁判を傍聴。原告にもなっている市内在住の漁師の方は「長年東京湾で「マコガレイ」「ミル貝」「ナマコ」を獲っている。この15年ほどで水揚げが激減、金額的に五分の一になってしまった」「理由は地球温暖化による海水温の上昇」と証言。海で仕事をする方の生のご意見を聴き大きな驚きと同時に改めて気候危機の深刻さを感じました。

気候危機は待ったなし。ただちに手を打たなければ手遅れになります。

日本共産党市議団はゼロカーボンシティ推進のために引き続き市政に働きかけてまいります。同時に「脱石炭」の世界の流れに連動し、市民社会の運動に積極的にかわり、自然エネルギーへの転換へ具体的に提言してまいります。



公共施設の統廃合

高齢者の憩いの場 青少年の居場所 有料へ？

入浴施設などがあった池上老人福祉センターが廃止され、10月から池上コミセンに管理一元化。今まで無料であったところが有料化となるのではないかと心配です。

衣笠青少年の家は令和5年度いっぱいまで廃止し、代替として近隣小学校に放課後子ども教室を設置すると言いますが、子ども以外の年齢層の「絵手紙」「体操」サークル等で集っていた方々からは不安の声が出ています。引き続き機能が低下しないよう働きかけてまいります。



池上市民プラザ



衣笠青少年の家(みんなの家)

安定した医療サービスの提供体制を

昨年、市民病院の呼吸器内科の常勤医師4人全員がやめて、この一年間確保できない状態が続く中で、さらに非常勤医師まで5人から4人に減らす予定であること、また看護師についても昨年28人を減らしたことに続き、今回さらに40人減らすことが示されました。

患者数に合わせて看護師を減らすという理由ですが、市民病院における2022年度一日平均の患者数見込みは昨年度より14人の増加を見込んでいます。患者増を見込むのであれば、せめて現状の看護師数を維持することが、安定した医療サービス提供につながるのではないかと**井坂なおし議員**は指摘。

コロナ感染拡大で医療現場は必死の対応が続いています。

日本共産党市議団は積極的な医師・看護師など医療従事者の確保、地域医療の提供体制の充実を引き続き求めてまいります。

市の職員の1か月の残業時間 過労死ライン3倍の262時間

大村洋子議員が「これは許されることではない。生身の人間の生命維持が危くなるような状況」と迫ると市長は「私は300時間でも400時間でも働いたことがあるから、危急存亡のときには当然そうなるのは当たり前と申し上げたい」と居直りました。公務労働においても労働者の心身の健康は軽視されてはならないと思います。



大村洋子議員

かがみ田苑の度重なる不祥事 今度は労基署が臨検 さらに勤怠記録改ざんも

市の施設である福祉援護センター「かがみ田苑」は指定管理者に委託していますが、今度は休憩時間を取らせていなかったことが露呈し、労基署から労基法違反・是正勧告が出されました。さらに後日、タイムカードを不正操作して休日出勤していたことにして不当に給与を得ている職員も発覚しました。これらはいずれもまじめに働く現場職員からの内部告発が発端です。

市の障害者施策への姿勢も問われる

今後も引き続き指導監査を強めていくと市は方向性を出していますが、代表質問における市長の答弁は「どこの企業でも同じことがあり得る。部長に任せている。」とまるで他人事のような答弁でした。返還金も総額2,300万円を超える深刻な事態です。引き続き厳しく追及してまいります。

4月からの値上げラッシュ、食料品が軒並み上がっています。年金は減る一方で75歳以上の高齢者のおよそ2割の方々が医療費二倍化となる予定です。

家計が厳しい中で追い打ちとなる公共施設の有料化の動き、一方で猿島の新設トイレに2億8,100万円。コロナ対策と暮らしこそ優先するべきです。

2.8億円

猿島の新設トイレ 今、必要？

日本共産党は反対

コロナがまだ収束していない中で市長は「アフターコロナ」と言って観光のために計画を進めていますが、内容じたいもずさんであることが明らかとなりました。当初総額3億円と言われた工事は設計を経て7,000万円減額されました。しかし、実際に工事を始めると想定外の予算が必要となり今度は新たに5,100万円が増額され、見積もりの甘さが浮き彫りとなりました。

市の技術部門の弱体化も明らか

設計コンサルや工業者との連携の際に市の技術的力量が問われます。質疑を通してその判断や評価する力がかなり希薄となっていることがわかりました。立て直しこそ急務です。同時に猿島は自然遺産、文化遺産として後世に残すことが大事であり、安全面でも万全を期すことが必要です。単に集客を増やせばよいというものではないことを強調したいと思います。

住み慣れた家で
長く暮らしたい



住宅リフォーム助成が実現

日本共産党はこれまでも住宅リフォーム助成事業を粘り強く要望してきました。**井坂なおし議員**は「コロナ禍で在宅が増えて快適さが求められると同時に、換気や居住性能も見直す家庭が多い。市内工務店や地元業者への仕事確保につながり、地域経済対策としても効果がある。」と12月定例議会で市長に実施を提案。市長も高齢者が住み慣れた家で長く暮らせるようにと住宅リフォーム助成事業実施を検討と答弁し、予算化が実現しました。



井坂なおし議員

【対象となる方】

- ・自分所有の住宅に居住している、65歳以上（申請日時点）の方
- ・65歳以上（申請日時点）の方と同居している住宅所有者の方

【対象となる住宅】

- ・市内にある「一戸建て住宅」「共同住宅（マンション）の専有部分」「併用住宅の住宅部分」

【補助金額・件数】

- ・税抜き20万円以上の工事に対して、一律10万円の補助
- ・件数は200件を予定

詳細は「広報よこすか」や市のホームページで近日中にお知らせ予定